

**学校名** 三郷市立新和小学校  
**所在地** 三郷市中央2丁目28番地12  
**電話** 048-952-0121

## 1 本校の概要

「読書で輝く新和の子」を合言葉に読書力を高め、心豊かな児童を育てることができるよう、学校図書館を学びの中心に位置付け教育活動を行っている。児童数1000人を超える大規模校であるが、「新和小学校の読書キャラクター」の募集・決定等、新たな取組を導入しながら、読書活動を推進している。



## 2 本校の実践

### (1) 実践の視点

- ・読書量と質の向上
- ・異学年、家族、地域での読書活動拡大

### (2) 実践の概要

#### ア 読書意欲を高める環境づくり

- ・各学年のオープンスペースに読書コーナーを設置
- ・学校図書館コーナーの充実
- 「校内読書標語」「家族読書の掲示」「先生方によるおすすめの本コーナー」
- ・「新和ライブラリー」の発行（年7回）

#### イ 読書の輪を広げる活動

- ・読み聞かせ活動  
児童、教職員、ボランティア、学校司書が実施している。児童の有志による「新和わくわくお話隊」は、幼稚園や高齢者福祉施設での読み聞かせを楽しみながら実施している。
- ・ビブリオバトル  
小グループ→クラス→学年の順に実施し、学年のチャンプ本を図書コーナーに掲示している。どの学年も自分の好きな本に対する思いをもっと伝えたいという意欲であふれている。
- ・オーサービジットへの参加  
様々な作家に思いを込めて色紙を書く活動を行っている。今年度は、オーサーの一人である尾木直樹氏が来校して特別授業を行ってくださり、実りある活動となった。
- ・読書イベント  
図書委員会の児童を中心に読書ビンゴや読書キャラクター投票準備等の運営を行っている。



## ウ 学校図書館の活用

### ・授業における学校図書館の活用

各教科での学校図書館の利用を推奨している。今年度、全職員で各学年の「パスファインダー」を作成し、来年度から活用していく。

### ・比較読書や並行読書の推進

学校司書と連携し、授業の単元に応じたブックトーク等を行い、関連のある本への関心を高めている。ブックトークや国語の読書単元の本を読むことを行っている。

## 3 成果と今後の課題

### (1) 成果

#### ア 読書量数の増加

学校図書館の貸出冊数（児童）は、12月末現在で121,081冊となっており、一か月間に一人当たり12冊の本を読んでいる。

#### イ 主体的・対話的で深い学びの土台づくり

学校全体で連携を図りながら、環境整備や様々な読書活動を進めた結果、読書に対する意欲向上とともに、全国学力・学習状況調査や埼玉県学力・学習状況調査において県平均×110%以上の成績を修めることができた。この結果は、読書活動の成果と言える。

### (2) 課題

今年度、新たに読書キャラクターの導入やパスファインダーの作成を行った。これらを来年度に生かし、さらなる活用を図ることが課題である。「オリジナルキャラクターをどのように生かしていくか」「各学年のパスファインダーを授業で活用しながら、いかに充実させていくか」という2点に重点を置き、読書活動を充実・発展させていきたい。

### (3) おわりに

読書を通して児童や教職員、保護者、地域との絆が深まっている。今後も、さらなる充実・発展を目指していく。